

香川県の自殺の現状

(1) 自殺者数の推移

(人口動態統計：厚生労働省)

わが国の自殺者数は、昭和60年頃をピークに減少傾向にあったが、平成10年に31,755人と急増し、その後、11年連続で3万人を超えている。平成10年以降、特に男性の自殺者数の増加が著しく、平成20年の自殺者数は、全国で30,229人、香川で201人であった。(表1)

表1 自殺者数の推移(人)

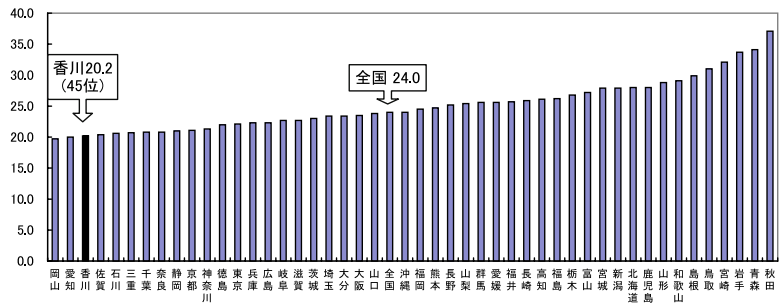
		H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13
全国	総数	21,420	22,138	23,494	31,755	31,413	30,251	29,375
	男性	14,231	14,853	15,901	22,349	22,402	21,656	21,085
	女性	7,189	7,285	7,593	9,406	9,011	8,595	8,290
香川	総数	160	193	156	222	197	231	191
	男性	99	125	108	153	133	176	123
	女性	61	68	48	69	64	55	68
		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
全国	総数	29,949	32,109	30,247	30,553	29,921	30,827	30,229
	男性	21,677	23,396	21,955	22,236	21,419	22,007	21,546
	女性	8,272	8,713	8,292	8,317	8,502	8,820	8,683
香川	総数	210	226	199	201	222	228	201
	男性	155	172	142	149	162	157	150
	女性	55	54	57	52	60	71	51

(2) 自殺死亡率

(人口10万人対)の推移

香川県の自殺死亡率は、全国値よりは低く推移しており、平成20年には全国値24.0、であったが、香川は20.2であった。自殺死亡率は、最も高い秋田県の37.0から、最も低い岡山県の19.7まで、地域によって大きな差がみられる。(表2)

表2 都道府県別自殺死亡率(人口10万対・H20)

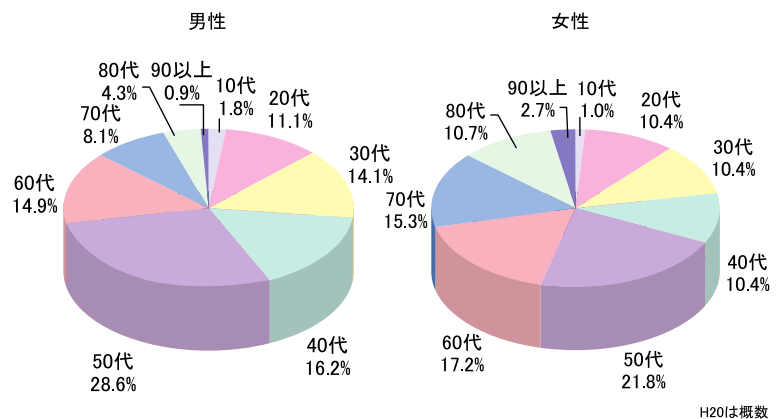


(3) 年代別自殺者数の推移

(香川H11-20)

男性では、40代が16.2%、50代が28.6%、60代が14.9%と40~60代で全体の約6割を占めている。女性でも50代21.8%と最も多いが、男性に比べて70代以上の高齢者の割合が多くなっている。平成20年は平成19年に比べて、男が50代で11名減少し、女が80代で10名減少している。(表3)

表3 年代別自殺者数(H11-20)



(4) 原因・動機別自殺者数

(香川H20)

(警察庁統計資料：平成20年)

香川県警生活安全部生活安全企画課によると、香川県の自殺者数は218名で、自殺の理由では、男性では、健康問題が28.1%、経済生活問題が26.7%、女性では健康問題50.6%が多い。また、健康問題、経済生活問題ともに50歳台で最多となっている。(表4)

表4 主な理由別自殺件数(複数選択)

	男	女	計	割合		
				男	女	
家庭問題	28	13	41	12.7%	16.5%	13.7%
健康問題	62	40	102	28.1%	50.6%	34.0%
経済生活問題	59	9	68	26.7%	11.4%	22.7%
勤務問題	19	2	21	8.6%	2.5%	7.0%
その他	20	4	24	9.0%	5.1%	8.0%
不詳	33	11	44	14.9%	13.9%	14.7%
計	221	79	300	100.0%	100.0%	100.0%

* H19年から、自殺原因は3項目まで選択できることとなったため、自殺者総数より多い。